

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（ 74 ） 学校名 豊田市立小渡小学校

1 テーマ

ふるさと「旭」を愛する子の育成
～旭地区の魅力を社会へ発信～

2 ねらい

- ・学校教育目標「地域を愛し、未来を開いていくことのできる社会人としての基盤をもつ子どもの育成」にしたがい、地域の魅力と問題点を知り、課題解決型探究学習を実施することで、個の地域の将来の担い手となる子どもを育成する。
- ・自分とは文化や環境の違う人々と自ら関わろうとする態度を育成する。

3 活動内容

（1）地域の竹に関わる竹楽器演奏

- ・年間で竹楽器クラブとして活動し、学習発表会と老人福祉施設での高齢者との交流会で演奏した。

（2）地域の交通事故「0」を願い交通安全パレード

- ・4月に全校児童とPTA役員が小渡商店街を歩き、交通安全パレードを実施した。

（3）地域の福祉施設との交流

- ・地域にある老人福祉施設「ぬくもりの里」で利用者（高齢者）と交流を行った。竹楽器の演奏をしたり、ゲームを一緒にしたりして、交流を図った。

（4）地域・学校の特色を踏まえ、地域と連携・共働する非常時対応訓練

- ・6月に防災学習会を実施した。講師として愛知工業大学の教授と学生を招き避難所での過ごし方について学んだ。グループごとに簡易トイレの作成し、それを避難所で生活する人が使用しやすくするためにはどうしたらよいか考え、全体で共有した。
- ・9月、地震によるダム決壊を想定した避難訓練を実施した。消防署の方のご指導の下、垂直避難をして第3避難場所の豊田市役所旭支所までの避難を行った。抜き打ちで行い、いざというときにどう対応するかを学ばせた。

（5）スキー体験学習

- ・1月に長野県平谷スキー場でスキー体験学習を行った。スキーの技術を学びながら、雪に囲まれた自然に触れることができた。

（6）自然との関わり

- ・1・2年生は、年間を通して野菜（学級園）などの栽培を行い、きゅうり、

トマトなどの夏野菜を使って、「野菜収穫パーティー」を行い、収穫の喜びを味わった。

- ・ 4月に1・2年生が地域の支援による稚鮎の放流を行い、自然愛護について理解を深めた。
- ・ 6月に1・2年生が梅を使った活動を行った。地域の家庭で梅とりを行い、その梅で梅ジュースを作った。梅ジュースの作り方を地域の方に学び、できた梅ジュースを地域の方にふるまう「梅パーティー」を開いた。

(7) 地域を知る活動

- ・ 生駒、小渡、笹戸、浅野地区からなる広い学区を、地域バスを活用して回り、今まで行ったことのない場所に行き新しい学びを得て、地域を広く知ることができた。
- ・ 3・4年生は、地域の食をテーマに、旭の名物や伝統食を調べる活動を行った。地域の飲食店や菓子店を訪問してインタビューしたり、地域の方に伝統食のアンケートをとったりして、マップにまとめた。

(8) 地域の問題点について関わり発信する活動

- ・ 5・6年生は、地域の問題点である過疎化について調べ発信する活動を行った。豊田市役所旭支所と連携して行い、空き家バンクに登録されている数軒の家に実際に行って観察し、担当の方の話を聞いて状況を知った。一方で、周りにアピールできる地域のよさを調べてまとめる活動も行った。そして、旭に移住を考えている方を対象として旭支所が行う「旭地区移住ツアー」の一つとして、その方々を小学校に招き、小学校の特徴や地域のよさを伝える活動を行った。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・ 昨年度の学校運営協議会で「さらに幅広く地域と関わるができるように」と課題として挙げられたことを受けて、さらに幅広く「人・もの・こと」に関わることができるようにと、新たな地域講師を招いたり、今までかかわったことのない教材を扱ったりした。子どもたちの地域に対する視野を広げ、理解を深めることができたこととともに、新たな地域の方が学校に来て関わっていただき、教育活動について理解していただくことができた。
- ・ 特色ある学校づくり推進事業に対する評価について、保護者アンケートでは、昨年度平均 3.4 が本年度 3.6、学校自己評価では、昨年度 3.7 が本年度 3.8 とどちらも上昇し、昨年度に比べて様々な活動や支援が子どもたちに効果的に働き、事業の計画や成果が周りに広く理解された。

(2) 課題

- ・ これまで、地域学校共働本部との連携がなかなか取れずに、地域との連携を広めることがなかなかできなかったが、1月から体制が整い、地域コーディネーターを介しての連携ができるようになった。来年度は、新たな地域講師の発掘・活用や地域の一助となる活動の実施など、地域と連携した活動がさらに充実するもの

になるようにしていきたい。

(3)「特色ある学校づくり推進事業」に補助員を配置したことによる成果と課題

①学校図書館司書

- ・本推進事業により週2回、学校図書館司書が在籍した。子どもの読書啓発のために、季節に合わせたイベントを実施したり、使いやすい図書室整備を行ったりしている。また、総合的な学習を時間などの調べ学習に関わる資料の準備や説明を行い、児童の情報収集につながっている。

②校内整備員

- ・4月当初は校内整備員の配置がなく、途中配置があったが、事情によりやめられてしまい、年度末まで不在が続いた。本校の事情から校内整備員は必要なので、配置ができるように地域にも呼び掛けていきたい。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ホームページを週平均3回更新し、各学級・全校の取組を紹介した。
- ・学校だよりで、毎月掲載（年11回発行）し、全校や学級の取組を紹介した。
- ・11月の学習発表会では、5・6年が特色ある学校づくり推進事業に関わる学習の成果を発表した。
- ・2月の授業参観では、1・2年は生活科の学習でかかわった方を招待して地域での学びの成果を披露し、3・4年、5・6年は、総合的な学習の時間で行った地域学習の成果を発表した。
- ・学習発表会と老人福祉施設との交流で、竹楽器を披露した。